

ボランティア分科会研修会・交流会

1月8日(木)、中野地域ケアプラザにおいて、中野地域ケアプラザと本郷第三地区社会福祉協議会、支えあいネットワークボランティア分科会の共催で、介護技術の研修会「介護の楽校」が行われました。研修会には地域で活動しているボランティア27名が参加しました。

前半は、小規模多機能事業所「晴」とケアプラザ通所介護の協力で、日頃から実践している「生活とリハビリ」の手法を用いた立ち座りの介助や車イスへの移乗方法などの基本技術を学びました。後半には身体に負荷のかかる装具をつけ、身体機能の低下による日常生活の不自由さを体験しました。高齢者の気持ちを理解する機会となり、介助するときはどうサポートするのが適切であるかを学びました。



●防災講演会開催（家庭防災の会）

栄区は浸水、斜面崩落の危険地域が多く風水害は身近な災害です。そこで家庭防災の会では、栄区役所から古谷敏夫危機管理担当係長をお招きし、2月22日(日)に中野地域ケアプラザで46名の参加を得て防災講演会「豪雨災害に備えて」を開催しました。

第1部は用語の解説と横浜市の対応を伺い、第2部で小グループに分かれ台風をイメージし避難の判断、地域の課題等を抽出し解決策を話し合いました。



今回の講演会をとおり、浸水やがけ崩れなどが起きやすい地域の避難について、道は明るい暗いか、道路の冠水状況はどうか、高齢者や障害者は安全に移動できるか、風水害の危険度はどうか等々を考え、避難が必要かどうかや避難のタイミングを事前に家族や近隣の方と話し合っておく必要性を感じました。



分科会訪問③ ボランティア分科会

分科会訪問第3回目は、支えあいネットワーク・ボランティア分科会代表の関由利子さんにお話を伺いました。

ボランティア分科会代表になったきっかけ

前代表の村田さんが支えあいネットワークの代表となることになり、副代表だった私が自動的に代表を受けることになりました。

苦労話がありますか？

人前で話をするのが苦手で、研修会などで挨拶するのに苦労しています。

楽しかったこと、うれしかったこと

様々なボランティア団体の活動を知ることができ、横のつながりが持てて視野を広げることができました。

ほかにどんな活動をしていますか？

更生保護女性会、こども広場モーリーズ、みんなの広場たけのこで活動しています。

趣味は？

読書、宮部みゆきさんの本にはまっています。

本三みらい

発行者 村田可代子
◇本郷第三地区
社会福祉協議会
◇本郷第三地区
支えあいネットワーク

支えあいネットワーク全体会が開かれました

3月7日(土)午後1時半から中野地域ケアプラザにおいて、関係者80余名が参加して、「26年度支えあいネットワーク全体会」が開かれました。

村田支えあいネットワーク代表、保坂連合町内会会長、小山福祉保健センター長、田中栄区社会福祉協議会事務局長のあいさつの後、第1部として、5つの分科会が今年度の活動を報告しました。

①訪問活動分科会

「訪問カード」及び「緊急医療情報キット」の活用状況と今後の活用方法について協議しました。

地域のきずなを強くし、活性化することを目的として、世代間交流事業を行っているサロンを視察しました。

②災害時分科会

地域における災害時要援護者支援の取組事例や情報の共有を図りました。また、災害時に備え、地区内の無線機の整備状況を調査しました。8月に開催した「災害時要援護者支援講座」では、3つの町内会の災害時に備えた取り組みを聞くとともに、認知症の方への接し方について学びました。

③広報分科会

「本三みらい」を年4回発行、そのうち1回は全戸配付しました。

3月に買い物情報シート「配達するお店」を発行しました。

④ボランティア分科会

1月に研修会「介護の楽校」を開催し、介護の技術を学び、身体に負荷のかかる装具をつけ高齢者の疑似体験をしました。

⑤子育て関連分科会

地域の行事などを掲載した「こどもカレンダー」を年4回発行し各小学校に配付しました。

2月に「みんなでチャレンジ！ Let's スポーツ！」イベントを開催し、子どもたちが他校の児童や地域の大人など、学区や世代を超えて交流できる場をつくりました。

第2部では村田代表より、11月に行われた地区別懇談会「本三のみらいを語ろう」について報告がありました。報告要旨は以下のとおりです。

- ・8グループに分かれて行われた懇談会で、290件の地区課題や改善のための意見が出されました。
- ・上記の5つの分科会で、地域社会が求めていることという視点で、70の課題、意見を抽出しました。
- ・幹事会でさらに絞り込みを行い、12の課題を本郷第三地区で「取り組みたい課題案」としました。
- ・今後、支えあいネットワークが中心となって、これらの課題の取組内容及び取組主体を検討しながら第3期地区別地域福祉保健計画策定を進めていきます。



編集委員：水越春彦 本間和男 片山栄一 杉本須美子 佐藤喜久子 服部泰子 軽野幸男
協力：栄区社会福祉協議会 中野地域ケアプラザ
連絡先：中野地域ケアプラザ (地域交流部門 TEL 045-896-0711 FAX 045-896-0713)

各町内会、自治会でいろいろな行事が催されました

●本郷第三連合、港南台プリンス Heights 自治会「合同防災訓練」

12月7日(日)、虻名公園・プリンス会館において、本郷第三連合と港南台プリンス Heights 自治会の合同防災訓練が行われました。晴天に恵まれ、尾仲区長をはじめとする来賓を合わせ参加者は130名でした。参加者は3班に分かれ、消火器を使った消火訓練、毛布を利用した簡易担架による搬出訓練と三角巾による救護訓練、AEDを使用した心肺蘇生訓練、プリンス会館での煙体験を行いました。全ての訓練が終了した後に、炊き出し訓練として調理した豚汁とアルファ米を参加者全員がおいしくいただきました。防災に対する意識が高まるとともに、近隣地域住民の交流もはかることができました。



●港南台プリンス Heights 自治会「ハイキング」

11月23日(日)、自治会主催のハイキングに大人37名、子ども10名、合計47名が参加しました。虻名公園をスタートし横浜栄高校、いっしんどう広場を経由し自然観察センターまでの道のりを約2時間かけて歩きました。天候に恵まれ、景色も素晴らしく、参加者の交流をはかりながら楽しく過ごしました。



●若竹町内会「バス旅行」

12月4日(木)、町内のシニアクラブ「羽衣会」との共催で「養老溪谷紅葉狩りバス旅行」を43名の参加で実施しました。12月の紅葉狩りでは遅いのではと心配もしましたが、温暖な房総では丁度よかったです。当日は天候にも恵まれ、紅葉狩り、地元酒造試飲などで楽しむことができました。バス内では飲んで、歌って、ゲームしてと盛りだくさんで、大いに親睦を深めました。



●鍛冶ヶ谷町内会「防災研修」

2月17日(火)、町内会主催の防災研修会を行いました。午前8時30分、36名を乗せた観光バスがスタート。最初に神奈川県総合防災センターに向かいました。10時から地震体験・風水害体験・消火体験・煙避難体験のコーナーを約1時間20分かけて見学しました。大変高度な機械設備に参加者は感動しました。

昼食は、小田原の鈴廣でとり、次に曾我梅林を雨のため車中から見学、最後はアサヒビール神奈川工場でおいしいビールをいただきました。無事終了、楽しい研修会でした。



●ラーバン港南台自治会「出前講座」

12月21日(日)、自治会保健衛生部企画の「乳がんについての出前講座」を開催しました。講師としては、神奈川県放射線技師会の桂孝英先生(茅ヶ崎市立病院)、天野奈津子先生(横浜南共済病院)、伊藤紀子先生(横浜市立大学附属病院)を迎えました。

当日は、医療現場の最前線で活躍されている先生の生の講和が聴けることから20名が参加し熱心に聴講しました。

乳がんは怖い病気ですが、早期発見すれば克服できる要素もあることから、日頃より乳がん検診の受診と自己触診を心がけることによって早期発見に努めることが必要と強調されました。説明も分かりやすく丁寧に行われ、たいへん参考になり、健康を考える絶好の機会となりました。



●ローレルスクエア港南台自治会「歩道清掃」

2月1日(日)、ローレルスクエアの脇を走る鎌倉街道沿いの歩道を当自治会で清掃しました。約30人が集まりました。空き缶やお菓子の空き箱が多いことを予想していましたが、最近はマナーが向上したのか、ほんのわずかあっただけでした。代わってターゲットとしたのは雑草と落ち葉です。歩道の脇に溜まった落ち葉は量が多い上に水をたっぷり含み、これらの片付けにとっても苦戦しましたが、清掃後の歩道は見違えるようにきれいになり、広くなったように感じられました。いつもキレイな街であってほしいと、清掃をするたびに思います。



●若竹町内会「要援護者支援の取り組み」

各町内会・自治会では、災害時の要援護者支援に向けた取り組みが進められていますが、意欲的に体制づくりに努めている若竹町内会には、地区内外からどのように行っているか教えてほしいとの依頼が寄せられており、これまで各地に出向いて意見交換を行ってきました。

昨年7月12日には湘南 Heights 自治会、8月23日には支えあいネットワーク災害時分科会主催の災害時要援護者支援講座、また今年1月14日には田谷町内会に招かれ、取組状況の説明と意見交換を行いました。

湘南 Heights、田谷の2か所は、まだ白紙の状態ですが取り組みに対する質問、特に要援護者の個人情報問題や支援者の責任についての問題などが話し合われました。



●鍛冶ヶ谷町内会「バス旅行」

3月8日(日)、町内会日帰り旅行を103名の参加で開催しました。まず、大宮の鉄道博物館でジオラマを鑑賞し、職員の方の館内ガイドツアーに参加して、懐かしい列車の見学をしました。出発時には小雨だった天候も川越に入ると雨もやみ、ゆっくりと小江戸散策を楽しむことができました。最後にサイポクハムに寄り、手作りのパンや産直の畜産物の買い物をしました。高速道路の渋滞もなく、無事に帰途につくことができました。



●ラーバン港南台自治会「田浦梅の里散策」

2月19日(木)、前日の雨がウソのように朝から快晴で、絶好のウォーキング日よりとなり、「田浦梅の里」を散策してきました。

梅はまだ3~4分咲きで、少し寂しい気持ちもありましたが、広大な公園を楽しくいい汗をかきながら歩いてきました。

